

農林業まつりのお知らせ



- ☆ 日時 平成18年9月10日(日) 8時30分～14時
- ☆ 場所 あかたの森公園
- ☆ 内容 果物・野菜の即売、花卉品評会、木工教室、フリーマーケットなど
- ☆ 問い合わせ 農林業まつり実行委員会事務局 農政課内 TEL34-3221

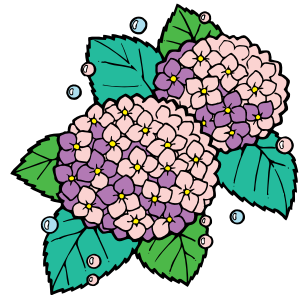
※駐車場のスペースが充分ではありませんので、できる限り、公共交通機関(路線バス新浅間線・タウンズニーカー東コース)をご利用ください。

農地転用 Q&A

Q：退職後、農地を取得して農業を始めたいと思うのですが、どのような手続きが必要でしょうか？

A：農地を取得するには農地法3条、5条等の許可または届出が必要です。許可を受けるには、下記のような条件が求められます。

- 1 耕作している面積が一定規模以上であること。
- 2 購入する土地を耕作、管理ができる距離に居住していること。
- 3 購入する土地を農地として維持管理できると認められること。



詳しくは農業委員会事務局までお問い合わせください。TEL 34-3226

人事異動

(新任)
 農業委員会事務局
 事務局長 木下 雅文
 係長 草田 茂
 主査 藤森 佐和子
 主査 小原 哲

(転出)
 耕地林務課課長補佐
 木下 和泉

奈川支所市民福祉課
 市民環境係長
 上條 博文

市民課
 主査 中村 真由美

(退職)
 農業委員会事務局
 事務局長 上條 順敬

(県関係)
 松本農業改良普及センターは
 組織改正により県農業自律チ
 ームに統合になりました。

よもやまばなし



農業委員 奥原 章男 (安曇)

「番所のソバ」

乗鞍高原には在来種の「番所ソバ」があります。特色は、実の粒が小さく、形状は他種と異なり三角面が丸みをおびている、粉に挽けばソバ一升粉一升と歩留りが良い。ソバの香りと粘りによる喉ごしの良さは絶品である。健康食品であり観光にも寄与している。畑の周辺の景観を際立たせ、カメラの被写体になり、花は可憐で養蜂の蜜源に役立っている。食品では、そば・そばがき・おやき等利用範囲は広い。当地では、ある時代は主食の座を占めており、水車小屋は十七軒あったとのこと。ソバを活かす粉挽きは石臼で水車挽きが最高のように。白の石材にも凝り、乗鞍の火山岩の中のものを選んでいきます。



満開のソバの花

ソバ作りは、種を蒔く時に畝に植の若葉の枝を刈り込み、落葉させた上に蒔く耕作だったと伝えられています。時の推移により耕作にも影響を受け、生産を以前に戻すことは難しいことであるが、付加価値の富む作物として活かしたいものです。コトコトコットンと水車の音をそっと想い浮かべ、ソバを挽く水車小屋の山里の風景、そしてソバ畑の花がジュータンのように目前に広がれば、誰知らずメルヘンの境地が伝わるそんなさわやかな高原の里を盛り上げてくれるでしょう。

編集後記

ある俳人の句に 『雪形と 映しと代田 水渡る』



美しい田園風景の句、次世代に継ごう農業と環境・・・農業委員の任期も残りわずかとなり、我々のメンバーも「六十一号」が最後となりました。協力頂きました方々に心から感謝を申し上げます。

今回より女性協議会編集委員が代わりましたのでご紹介致します。

農業委員会だより

編集委員長 藤崎 兼光

副委員長 酒井 靖一

委員 牛山 輝雄

船坂 秀男

上村 治郎

瀧澤 慶昭

永田 豊彦

百瀬 茂敏

新井 勝由

赤羽 米子

稲村 信子

丸山 安子